

通番	カテゴリ	ご質問やご要望の要約	市や新病院運営法人の考え方
1	新病院（ソフト面・診療に関すること）	旧吉祥寺南病院の医師は継続して勤務するのか。ぜひ継続していただきたい。	整形外科の医師は引き続き勤務する。脳神経外科の医師は既に開業されているので難しい見込みだが、検討する。
2	新病院（ソフト面・診療に関すること）	リハビリの内容に失語症対応は含まれるか。	含まれる。
3	新病院（ソフト面・診療に関すること）	慢性腎不全でもリハビリは対応できるか。	外来でのリハビリは対応できるが、透析が必要となる入院でのリハビリの対応は難しい。
4	新病院（ソフト面・診療に関すること）	総合内科は何を診てくれるのか。	肺炎、心不全、尿路感染症、心疾患などに対応する。また、外来については循環器内科も診る予定である。
5	新病院（ソフト面・診療に関すること）	三次救急は受け入れられないのか。	武蔵野市内では武蔵野赤十字病院が三次救急医療を担っている。新病院は二次救急医療を担う予定である。 二次救急として搬送された方の中にも三次救急で対応すべき方がいることもある。そのような「隠れた三次救急」の方を適切に三次救急に繋ぐことも、法人としては二次救急の大事な役割の一つだと考えている。
6	新病院（ソフト面・診療に関すること）	旧吉祥寺南病院のカルテは引き継がれるのか。	カルテの保存期間は通常5年間であり、旧吉祥寺南病院の電子カルテの機械が古いため、カルテの引継ぎは困難であることが予想されるが、検討する。
7	新病院（ソフト面・診療に関すること）	発熱や腹痛のため受診した場合、初診料が5,000～7,000円ほど必要になるのか。	200床を超える病院においては紹介状がない場合や軽症の場合は選定療養費の徴収をすることが国から義務付けられている。ただし、例外規定もあり、医師の指示によって来院した場合や緊急時の来院の場合は徴収が不要である。急な発熱や腹痛であれば、例外規定を適用でき、選定療養費を徴収しない見込みであるため、お問い合わせいただきたい。
8	新病院（ソフト面・診療に関すること）	救急では、日によって「今日は脳神経外科の救急は全て受ける」「今日は整形外科の救急は全て受け入れる」ということになるか。	たとえば脳梗塞で救急搬送された方には脳神経外科の医師がオンコールで対応する、といった体制を想定している。
9	新病院（ソフト面・診療に関すること）	外来は混むだろうか。どれくらい待つか。	外来はどうしても混雑が予想される。ただ、待ち時間があってもストレスが少ない待合室を作ろうと検討している。
10	新病院（ソフト面・診療に関すること）	親族が近隣病院で受け入れてもらえず、中野の病院まで搬送されたこともあった。他の地域、他の病院に行かざるを得ない状況があった。	市民の方から「救急搬送先が見つからずにしばらく自宅で待機した」と市にお声を寄せていただいたこともある。他の地域との病院の連携も含め、しっかりと役割を担っていただきたいと考えている。
11	新病院（ソフト面・診療に関すること）	コロナ禍のようなことがまた起きた際に、感染症の入院は受け入れるか。	感染症の病態による。グループ病院ではコロナ患者を受け入れてきた実績はあるが、あまりにも感染力が強い、または致死率が高いものについては、他の感染症指定病院が受け入れることになる。
12	新病院（ソフト面・病床に関すること）	急性期病床80床とあるが、包括ケアや療養病床は想定していないか。何科の急性期病床になるか。	80床については全て急性期病床として考えている。脳神経外科や整形外科の内訳については開院までに検討する。
13	新病院（ソフト面・病床に関すること）	250床も不要ではないか。	市としても、二次救急医療を担い、災害時医療に対応でき、持続可能な病院であるためには、250床程度が必要と考えている。旧吉祥寺南病院の125床や、コロナ禍前に計画されていた180～200床程度の病院で運営できるようであれば、旧吉祥寺南病院は診療休止になっていたと考えている。
14	新病院（ソフト面・病床に関すること）	国は病床削減の方向性だが、どう考えているのか。	国は病床数を削減する方針だが、全国的には過疎地域もある一方、全国一律で病床が過剰な状況ではないと考えている。吉祥寺地域は病床が不足している地域であり、市としてはそのような地域事情や市民の皆様の声を届けながら、東京都へ病床配分を要望したい。
15	新病院（ソフト面）	若い人が活躍できるような魅力ある病院にしてほしい。	平時はもちろん、災害時に若い人の力は重要である。魅力的な病院を目指して頑張りたい。
16	新病院（ハード面）	250床が確保されていなくても、建設の着工は予定どおり行われるのか。	その予定である。理想としては病院開設までに病床配分がされることだが、開設当初は125床で運営し、徐々に病床数を増やすということは可能である。近隣の病院においても同様の事例がある。

通番	カテゴリー	ご質問やご要望の要約	市や新病院運営法人の考え方
17	新病院（ハード面）	建築費高騰で病院の建替えを断念したニュースを聞いたことがあるが、病床が配分されない場合、新病院の建設を中断するようなことはあるか。	以前に比べ、新病院の建設にあたってより費用や期間が必要となっており、病床配分の課題も含め悩ましいところであるが、断念はしたくない。努力していきたいので、ぜひ皆様のお力をお借りしたい。
18	新病院（ハード面）	院内に大きなレストランやコンビニなどは作られるか。	予定はないが、お見舞いに来られる方などが待機するための場所が必要だと思っている。コンビニについては隣地のコンビニをご利用いただきたい。
19	新病院（ハード面）	院内に薬局は設置されるか。	院内には設置せず、院外での処方进行を想定している。
20	新病院（ハード面）	施工業者が決まっていなくても開設は間に合うのか。	現在設計を近隣住民と調整しており、設計図面は未確定である。調整が進み設計図面が完成すれば、施工業者が決定する予定である。手続きに要する期間を短縮するなど、予定通り開設できるよう努力する。
21	新病院（ハード面）	第一種低層住居専用地域である南側の土地についても病院の用途に使われると示され、近隣住民としては寝耳に水だ。令和 7 年 8 月の市民説明会では説明されていなかった。第一種低層住居専用地域の部分にゴミ庫や非常用発電機が設置されることは納得がいかない。	令和 7 年 8 月の市民説明会では、参加された市民から「診療科をもっと増やしてほしい」「内科を作してほしい」とご意見をいただき、その場で法人は「総合病院のように対応できると良いが、この敷地面積ではそこまでの病院を建設することは難しい」と回答した。その後、南側の土地が取得できる見込みとなり、市民の皆様からのご意見を踏まえ、診療科を増やすためにこの土地を取得したと伺っている。 病院の建設計画については、現在近隣住民のご意見を踏まえながら調整している段階であり、非常用発電機の設置場所については法人も設計事業者と検討を進めている。資料に記載のとおり、この図面は確定したものではなく、これからも協議によって調整なされるものと認識している。
22	新病院（ハード面）	新病院の整備計画が突然出てきて近隣住民としては不快だ。	市のまちづくり条例の手続きが近隣住民の皆様と事業者が協議を進めるスタート地点だと認識している。これからも対話を続けていきたいと思っているので、引き続きお願いしたい。
23	新病院（ハード面）	駐輪場はあるか。	地下 1 階に170台分作る予定。
24	病院と市の関係	新病院の建物は市が所有して法人が運営するのか。	所有も運営も法人が担う。
25	病院と市の関係	建設にあたり税金が使われるのか。増床の許可が下りていないのに税金を投下する意味があるのか。	市は新病院建設に対する補助金などの税金投入はしていない。ただし、コミュニティセンターの移転に伴い発生する、一時移転先施設や新コミュニティセンター敷地の借り上げ料、新コミュニティセンターの設計及び工事に要する費用は市が負担する。
26	病院と市の関係	地域に根差した病院を目指しているということから、今後の運営において市の関係者や地域住民が法人の役員になることはあるか。	現状その計画はないが検討は可能。
27	病院と市の関係	市は都市計画の変更や、稼働中の吉祥寺南町コミュニティセンターを移転させるなど、法人に対して大サービスではないか。法人は市の支援をどのように捉えているのか。吉祥寺南町コミュニティセンターを取り壊したことは重く受け止めてほしい。	市に多くの支援をいただいて感謝している。グループの中では他の地域で病院を立ち上げたり経営移譲を受けて始めたところはあるが、これほど厚い支援を受けたことはほとんどない。我々がすることは、皆様と対話を重ね、地に足をつけ、一緒に歩き、良い病院をつくることだと考えている。
28	病院と市の関係	市内の既存の病院には運営費を昨年度も今年度も市から補助しているが、新病院はどう捉えているのか。	地域医療は大変厳しい状況にあり、既存の病院にも大変負荷がかかっている。武蔵野赤十字病院や武蔵野陽和会病院は、旧吉祥寺南病院が引き受けていた分も救急搬送を受けたり、休日診療においては、武蔵野陽和会病院と旧吉祥寺南病院が交代制であったところ、現在では武蔵野陽和会病院が一手に引き受けていただいている。そういった状況を踏まえ、市は昨年度に引き続き今年度についても予算化した。 法人としては、新病院では地域の皆様に選ばれるような病院となることで、病床稼働率を高水準で維持し、ナフサ不足やペルシャ湾の危機といった問題にも打ち勝つような力強い経営ができることを目指している。

通番	カテゴリー	ご質問やご要望の要約	市や新病院運営法人の考え方
29	その他	新病院の開設までの3～4年の間に何かあったとき、既存病院は非常に混み合っているが、優先的に対処してもらえる可能性はあるのか。	救急医療について、市内では武蔵野赤十字病院と武蔵野陽和会病院、三鷹北病院で受け入れていただいている。市の休日診療では、武蔵野陽和会病院が病院部門を一手に引き受けてくださっている。こうした状況を踏まえ、市は地域医療の維持を目的とした補助金を交付している。新病院ができるまでは、既存病院を中心に対応いただいているとご理解いただきたい。
30	その他	新病院ができることにより、二次保健医療圏他の病院に悪影響があるのではないか。	市では、各病院の経営が厳しいとは聞いているが、病床機能など役割によって状況が異なると認識している。他の病院とも役割分担をし、コミュニケーションをとりながらより良い地域医療の体制整備を進めたい。また、旧吉祥寺南病院のように老朽化しており建替えが必要だということはこれからどの病院でも起こり得る、大きな課題である。先を見据えた整備が必要と考えている。
31	その他	廃院した水口病院は産婦人科であったため、一般的な人が行く病院ではない。「吉祥寺地域の医療体制の整備に関する支援方針」の中で「病院が減った」という数にカウントするのは、市は間違っているのではないか。	水口病院は急性期に位置付けられており、救急搬送も受け入れていた。「吉祥寺地域の医療体制の整備に関する支援方針」を作成した段階では、新病院が産婦人科も含めた総合病院のような形になるかどうかは未定であったが、急性期の病院が失われたことには変わりはないため、数に含めている。